

広報

おまぐ

2021

11

No.202



(特集1) 「伊予灘ものがたり」がある風景
初代車両(キロ47形)12月27日ラストラン

(特集2) 4人の絆で悲願達成
大洲高校カヌー一部 インターハイ優勝

(特集1) 「伊予灘ものがたり」がある風景

初代車両(キロ47形) 12月27日ラストラン



平成26年7月26日に運行を開始した観光列車「伊予灘ものがたり」の初代車両(キロ47形)は、今年の12月27日をもって引退します。

沿線のみなさんによる手振りやおもてなし、大洲城からの歓迎のぼり旗振りなどのおかげにより、多くの人に愛される人気列車となりました。

今回の特集は、この7年間で市の魅力の一つとして定着した「伊予灘ものがたり」が見える大洲の風景を紹介します。



平成26年7月



平成27年7月



平成28年7月



平成28年7月

令和元年7月



平成29年7月



2号車「黄金の章」は、伊予灘に反射する太陽や柑橘類の輝きを表す黄金色の車両です。



喜多灘～伊予長浜（晴海）



喜多灘～伊予長浜（今坊）



今坊第2踏切



伊予長浜駅

伊予長浜～伊予出石（長浜大橋）



1号車「茜の草」は、伊予灘の夕日を連想させる茜色の車両です。



伊予白滝～八多喜



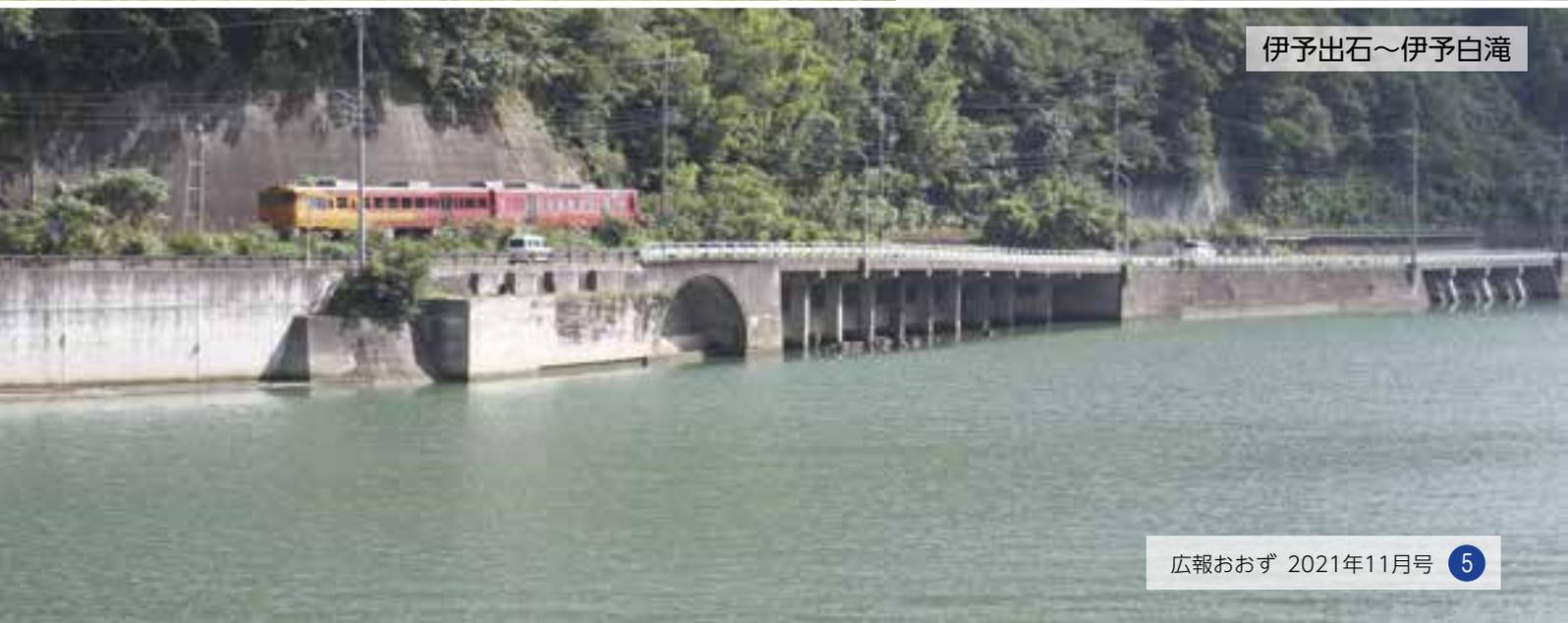
八多喜～春賀



三善踏切



春賀～五郎



伊予出石～伊予白滝



五郎駅



矢落川橋梁



矢落川橋梁～伊予大洲



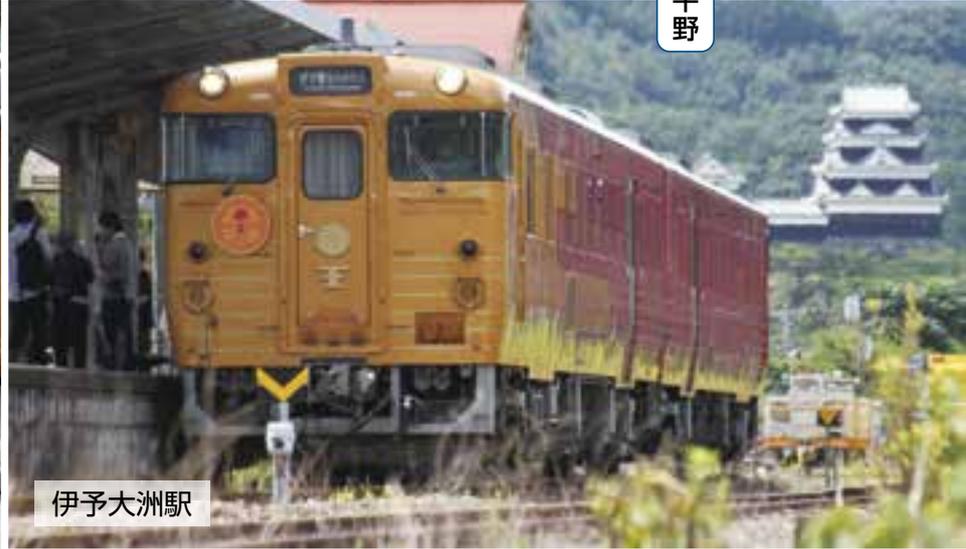
左：予讃線 右：内子線（東若宮）



堀の内踏切



伊予大洲駅



伊予大洲駅



肱川橋梁



八幡踏切



西大洲～伊予大洲 (阿蔵)



新阿蔵踏切



平野踏切



有松踏切

令和4年春には、車両を一新した「伊予灘ものがたり」が誕生します。現在の2両編成から3両編成(キハ185系)になり、土日を中心に1日2往復運転予定です。引き続き、歓迎の手振りなどでお迎えして、新しい物語にも沿線のみなさんの笑顔を届けましょう。